



CHAX

障がい者アスリートチーム

第4号

2021年11月

発行/CHAX障がい者アスリートチーム後援会（事務局/医療法人養和会 メディカルフィットネスセンターCHAX）



安野祐平選手 東京パラリンピック出場！ — 歴史に名を刻む —

熱戦が続いた東京パラリンピックにCHAX障がい者アスリートチームで活躍する安野祐平選手が陸上100m T33クラスに出場しました。米子市からのパラリンピック出場は史上初の快挙！ともに歩んできた安野選手に熱い声援を送るために、米子コンベンションセンターで安野選手の応援会を開催しました。コロナ感染対策のため、会場に集まれない関係者ともリモートでつながり応援しました。

スタートの出遅れが尾を引いて自己ベストよりも2秒遅い22秒34で5位という結果でしたが、世界の大舞台で困難に立ち向かいながら、自らの限界に挑戦しトラックを駆け抜けた姿に盛大な拍手が送られました。安野選手が出場したT33クラスは障がい者が重たいクラスであり、日本人では初の快挙です。安野選手の出場はこれからの日本パラスポーツ発展に一石を投じたことになりました。3年後のパリパラリンピックに向けて頑張りを続ける安野祐平選手をみんなでも応援しましょう！



人権研修、イベント等、アスリートを派遣します！

安野祐平選手と石丸知トレーナーが10月15日（金）、弓ヶ浜小学校で講演しました。同校体育館に集まった4年生81人に対し、安野選手のパラリンピックで使用した競技道具について説明した後、競技力向上のため、工夫しながら努力していることを紹介し、パラスポーツへの関心を高めてもらいました。



CHAX障がい者アスリートチームでは、学校教育や公民館講座などでアスリートの派遣を行っています。人権学習やパラスポーツ体験などご要望に合わせてアスリートとスタッフを派遣いたします。お気軽にご相談ください！



【申し込み先】

担当：石丸
電話：29-5351（養和病院代表番号）
Mail：ishimaru_t@yowakai.com

第2回合同練習会を開催しました！

鳥取県内の新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきている中、11月3日に米子サン・アビリティーズや米子市心身障害者福祉センター、皆生海岸など皆生一帯を拠点とし、総勢35名の参加で合同練習会を行いました。前回の練習会は鳥取市の施設を使用しましたが、今回は普段から使い慣れている施設を使い、地元での練習ということもあり、コーチ、アシスタントの協力のもと、みっちり練習をすることができました。

また、午後からは鳥取ユニバーサルスポーツセンター ノバリア から女子車いすバスケの日本代表トレーナーとして東京パラリンピックに参加された檜山恵理さんを招いて講演会を行いました。選手・コーチたちにとって必要な目標設定や、フィジカルチェックなど今の時期に必要な話題が盛りだくさんで、刺激のある講演会でした。今回の練習会だけでなく、選手たちは来年の大会に向けて日々のトレーニングを頑張っております。CHAXなどで見かけた際は、ぜひ声をかけてください！



森 卓也選手 パラローイング（パラボート）



今年から本格的に取り組んでいる競技について報告します。

チームキャプテンの森 卓也選手が、今年8月に日本ボート協会の強化育成選手に認定されました。来年5月にはイタリアで開催されるパラローイング国際大会、9月にチェコで開催される世界選手権に参加できるよう普段は米子（中海）で練習し、月に2回は神奈川県にある相模湖での強化合宿で練習に励んでいます。

たくさんの方々のサポートを受け、しっかり練習が出来ている事に感謝し、結果につなげていきたいと思っております。引き続き応援をよろしくお願い致します。